

教科目名 地域計画学 (Regional Planning)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 2年 (教育プログラム 第4学年 ○科目)

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 亀野 辰三

| 授業の概要 | | | |
|---|---|---|-----------|
| 地域計画とは、都市を中心として農村およびリゾート地域などを含めて地域全体の開発計画が、各地域地区の特性を活かすとともに、国土全体から見てバランスのとれたものであるように計画することをいう。しかし、地域計画は地域経済と密接な関係を有することから、本講義では地域経済学の基礎も学習する。地域経済学の内容としては、EU・APEC等の広域経済圏や中国・シンガポール等の国家戦略等について解説する。本講義では、国際経済、戦後の地域計画の歴史、現在の都市・地域が抱えている様々な課題等を学ぶことになるが、学生自らが日本各地で展開されている地域づくりの現状を調査し、プレゼンテーションを行うことでエンジニアリング・デザイン能力を向上させることを主眼としている。 | | | |
| 達成目標と評価方法 | | 大分高専目標(E1), JABEE目標(d2 a) | |
| (1) 地域計画及び地域経済学の基礎知識が理解できる。(定期試験) | | | |
| (2) 現在の都市・地域が抱える様々な課題を理解できる。(定期試験) | | | |
| (3) レポートでまとめた内容をプレゼンテーションでき、的確な質疑応答ができる。(レポート&プレゼン) | | | |
| 回 | 授 業 項 目 | 内 容 | 理解度の自己点検 |
| 1 | 1. 地域計画概説 | ○地域計画と地域経済学の関連について理解する。 ○時代の潮流の中で地域を理解する。 ○国家を超える地域主義とグローバリズムについて理解する。 ○FTA や新興国の国家戦略が理解できる。 ○戦後の地域計画を理解できる。 ○地域計画に影響を及ぼす経済理論について学ぶ。 ○戦後の地域計画及び総合計画の果たした役割を検証する。 ○レポートでまとめた内容を効果的にプレゼンテーションができる。 | 【理解の度合い】 |
| 2 | 2. 地域と時代の潮流 | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | 3. グローバリズムと地域経済 | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | 4. 日本の地域計画の歴史 | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | 5. 我が国の地域計画に関する事例研究 | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | 6. プレゼンテーション | | |
| 15 | 前期期末試験 | | 【試験の点数】 点 |
| | 前期期末試験の解答と解説 | | |
| 履修上の注意 | 地域・都市問題に興味を持つ学生の受講を望む。適宜プリントを配布するのでファイルを用意しておくこと。また、地域計画・地域経済に関するレポートを課すので、日頃から社会経済の動向に関心を持つこと。 | | 【総合達成度】 |
| 教科書 | 岡田・川瀬・鈴木・富樫著、「国際化時代の地域経済学第3版」、有斐閣 | | |
| 参考図書 | 日本まちづくり協会編、『地域計画』、森北出版 | | |
| 自学上の注意 | 演習問題や宿題を多く課すので、学生は教科書、参考書、インターネット、図書館学習等を通じて自ら調べて提出すること。 | | |
| 関連科目 | 交通システム工学、環境計画 (C科)、都市計画 (C科)、都市景観学、道路交通工学 (C科) | | |
| 総合評価 | 達成目標の(1)～(3)について定期試験とレポート及びプレゼンテーションで評価する。 総合評価=0.7×前期期末試験の成績+0.3×(レポート&プレゼン) 総合評価が60点以上を合格とする。再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する。なお、再試験の受験資格は、レポートを提出した者で、かつ、定期試験の成績が40点以上の者に与える。 | | 【総合評価】 点 |